

高速X線CTスキャナーの開発・営業展開

日本装置開発株式会社

事業内容 自社製 CT スキャナーの開発・製作・販売

企業 data 代表者：木下 修 所在地：安曇野市堀金鳥側640-1
従業員数：10名 連絡先：☎0263-71-1222

Introduction

日本装置開発は、信州安曇野を拠点として工業用X線検査装置とFA装置を設計・製作する開発型企業である。1996年機械設計会社として発足し、現在は、設計から製作販売までを行っている。

工業用X線検査装置は、当社の主要製品である。

企業の現状 及び 支援の経緯

従来よりFA設備の設計・製作を主として主にその技術をX線CTのユニットを製作しODM製品としてCTメーカーに納入していた。しかし理学機器としてのCTを工場等の生産現場でも使えるレベルに上げて広く市場に投入するために、自社ブランド品として製品化した。大型エンジン部品から半導体等の小型のものまで精度良く、高速に観察できるCT製品群の開発・販売を行い、地域の中核企業になることを目指している。これらの製品の営業展開において知名度・ブランドが弱く、既存の有名ブランドに対抗するためにブランド力、マーケティングについての支援が必要となった。そのため中核企業育成ステップアップ支援事業により支援を行ってきた。

実施した支援内容

- *製品紹介ビデオの製作
- *カタログ製作
- *web展示用の専用ホームページの製作
- *知的財産権の取得のサポート
- *ブランド形成のサポート
- *ものづくり日本大賞のサポート
- *新製品プレス発表会支援
- *製品輸出するための社内体制の確立



CTH320/300μFPD

【大型部品検査用CT装置】



と海外販売の戦略立案サポートは主に長野県中小企業振興センター、発明協会、等。

支援の結果 及び 今後の展開など

- ①大型のCTスキャナー CTH320/300μFPDは2021年初めに完成しマーケティング開始、特に自動車関連メーカーからの評価依頼と見積り依頼が多数来ている。
- ②上記以外に110、150、190、200KVのクラス別の4機種が令和3年12月までにラインアップされ、営業活動を開始している。
- ③何れも他社と比べ測定時間が1/15以下～1/60に短縮、最小検出ボイ

ドで1.5μ（190KV目標）と他社を圧倒する能力を持っている。

技術力では世界No 1と思われるが今後ブランド化/マーケティングにより広く知ってもらう事が課題となる。



【全5機種をラインアップ】

支援をうけて

代表取締役 木下 修 氏

ステップアップ支援事業によって、当社は次のことを進めることができた。

- ①ブランド・営業の戦略と目標がより明確になり、その実行においても確実性が高まった。
- ②事業推進の中で知財戦略等の次のステップや周辺課題が明確になり、事業関連の人脈支援により推進している。
- ③全体を通して、この2年間は当社計画をステップアップ支援事業と完全にリンクさせて実行してきた。